

はじめに …… i
ECERS 著者による前文 …… vii
クレア, D., クリフォード, R., ハームス, T., イエゼジアン, N.
謝 辞 …… x
導 入：本書の構成 …… xi

第1部

コーチングについて

第1章 コーチングの基本 …… 3
大人の学びについて 4
学び手としての大人 5
保育者について 6
信頼関係の構築 7
まとめ 13
第2章 コーチの多くの役割 …… 14
役割の明確化 14
園長がコーチとなるとき ORIS からのサポート 15
さまざまな立場でのコーチング 18
保育者に対する〈発達にふさわしい実践〉 20
まとめ 24
第3章 ECERS を用いたコーチング …… 26
子どものための保育の質とは何か 26
保育者の成長を支えるフィードバック 28
強みに基づくコーチング 30
どこから始めるか 31
まとめ 32

第2部

ECERSの項目を用いたコーチング

第4章	サブスケールを使う	37
	概要	37
	ECERSのポイント	39
第5章	サブスケール1 ▶空間と家具	41
	子どものために	41
	すぐに簡単にできること	41
	時間をかけて変えていく道筋	43
	もう一步	43
	職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	44
	まとめ	46
第6章	サブスケール2 ▶養　　護	47
	子どものために	48
	すぐに簡単にできること	48
	時間をかけて変えていく道筋	49
	もう一步	49
	職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	50
	まとめ	50
第7章	サブスケール3 ▶言葉と文字	52
	子どものために	52
	すぐに簡単にできること	53
	時間をかけて変えていく道筋	54
	もう一步	55
	職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	55
	まとめ	57
第8章	サブスケール4 ▶活　　動	58
	子どものために	58

すぐに簡単にできること	60
時間をかけて変えていく道筋	60
もう一步	61
職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	62
まとめ	63
第9章 サブスケール5 ▶相互関係	64
子どものために	64
すぐに簡単にできること	66
時間をかけて変えていく道筋	67
もう一步	67
職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	68
まとめ	69
第10章 サブスケール6 ▶保育の構造	70
子どものために	70
すぐに簡単にできること	72
時間をかけて変えていく道筋	72
もう一步	73
職員会議, 専門性研修, ワークショップのためのアイデア	74
まとめ	75

第3部

総まとめ

第11章 要 点	78
職員会議, 専門性研修, ワークショップにおけるコーチング	78
コーチと園長のパートナーシップ	80
ECERS のヒント	81
まとめ	83
第12章 結 び	84
子どもにとっての保育の質の向上	84
コミュニケーションの壁	86

あいまいな態度	88
絶対にしてはいけないこと	88
まとめ	91

付録 A 1▶改善計画シート ……	93
付録 A 2▶コーチング情報シート ……	94
付録 A 3▶コーチング質問リスト ……	95
付録 B ▶相互関係のリスト ……	96
付録 C ▶遊具／教材チェックリスト ……	98
付録 D ▶ハザードの定義 ……	108
参考文献	110
あとがき	115
索引	117

【注】

- * 本文中では原則として『保育環境評価スケール』ではなく、ECERS という原語を用いています。
- ** ECERS-R と ECERS-3 の日本語訳は順に、『保育環境評価スケール①幼児版』（2004年初版発行）と『新・保育環境評価スケール①3歳以上』（2017年発行）ですが、現在は著作権の関係で日本では後者のみ使用されています。翻訳についてその点を勘案し、日本の読者に理解しやすいように調整しました。